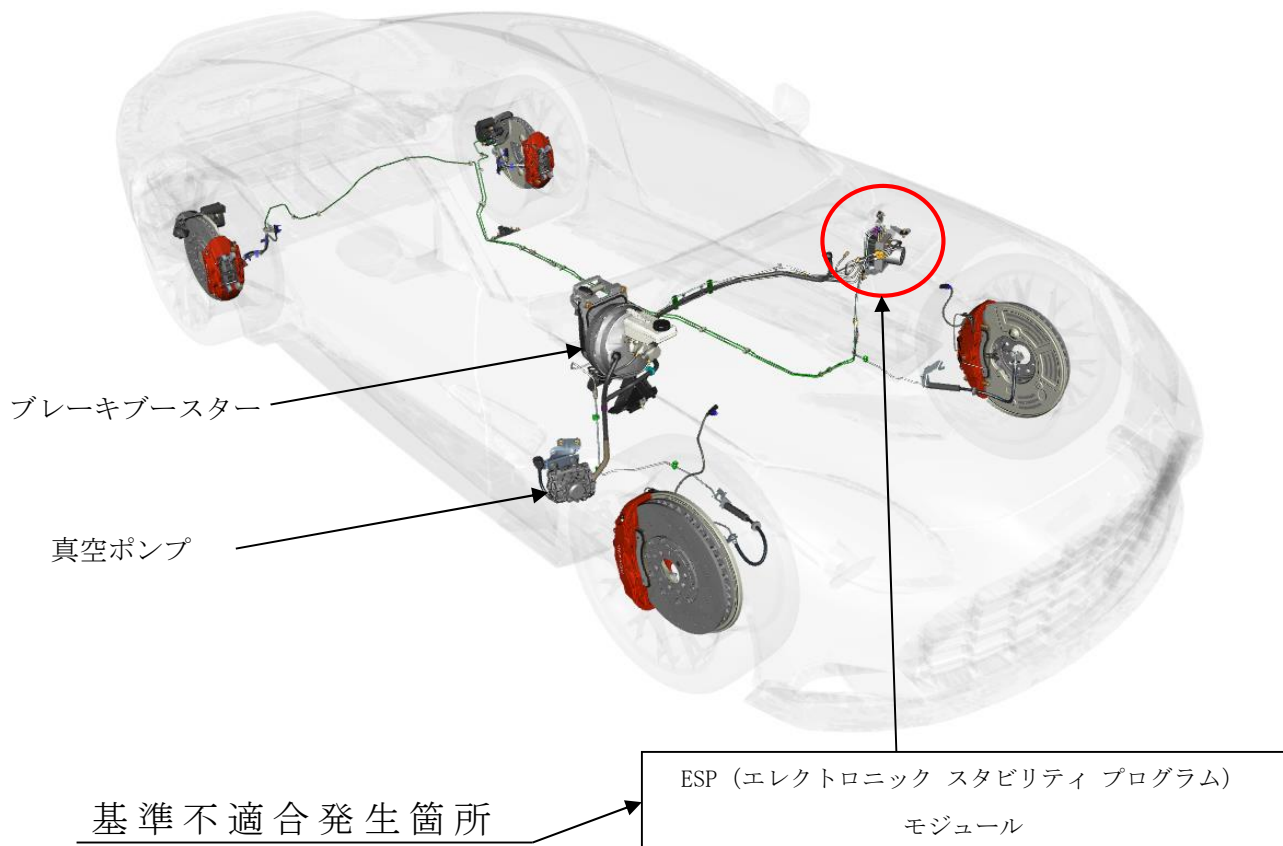


改善箇所説明図



ESP (エレクトロニックスタビリティプログラム) モジュールの制御プログラムにおいて、設計検討が不十分なため、エンジン始動時に不必要な DTC (故障コード) が誤検出されてブレーキ警告灯が点灯し、真空ポンプが作動しなくなることがある。

そのため、ブレーキブースターを負圧にできず通常時よりもペダルの踏力が必要となり、運転者の予測より制動距離が長くなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ESP モジュール制御プログラムを対策プログラムに書き換える。

注： は、対策部位を示す。

識別：車台番号打刻の 1 桁目上部に白色のペイントを塗布する。